

『リベロリプレイスメント』改正点について

(公財) 日本中体連バレーボール競技部では、平成29年度全国宮崎大会より一般と同様の『リベロリプレイスメント』ルールの実用を実施する。

改正点については、以下の通りである。

1 チームの構成

4.1.1 試合のために1チームは12人までの選手と、さらに次のスタッフで構成することができる。

(解説)

12名以下の場合、0～2名のリベロ・プレーヤーを登録することができる。
全国大会では、中体連は常に12名以下の選手で構成される。

2 リベロリプレイスメント (入れ替え)

19.3.2.2 通常のリプレイスメントをする選手は、いずれのリベロとも入れ替わってコートに出入りすることができる。アクティングリベロが入れ替わることができるのは、もともと入れ替わっていた選手またはセカンドリベロのみである。

(解説)

リベロ・プレーヤーの交代方法で下記のパターンは認められるが、②の場合、★と☆が同時に行われることは認められない。

| ① | ② | ③ | ④ |
|---------|----------|---------|-----------|
| No.3→L1 | No.3→L1 | No.3→L1 | *第2セット開始時 |
| L1→L2 | ★L1→No.3 | L1→L2 | No.3→L2 |
| L2→No.3 | ☆No.4→L2 | L2→L1 | L2→L1 |
| | L2→No.4 | L1→No.3 | L1→No.3 |

※L1、L2はリベロを示す

3 新しいリベロの再指名

19.4.1 リベロの負傷や病気、退場、失格によりプレーすることができなくなることがある。監督は、いかなる理由であってもリベロがプレーできなくなったことを宣言することができる。

19.4.2 リベロが1人の場合は、その時点(監督がリベロの続行不可能と宣言した時点)でコート上にいない(リベロと入れ替わった選手を除く)他の選手を、試合終了までリベロとして再指名することができる。しかし、続行不可能と宣言されたリベロは、その試合の残りはプレーすることができない。

19.4.3 リベロが2人の場合は、そのうちの1人がプレーできなくなっても、リベロ1人で試合することができる。

(解説)

平成 28 年度までの中体連の取り扱いでは、2人のリベロが何らかの事由により続行不可能と宣言された場合には、再指名を行うことができたが、今回の改正により、一般と同様に取り扱うこととした。

したがって、リベロが2人の場合は、2人のリベロの両者が続行不可能と宣言された場合のみ、再指名することができる。(リベロが1人の場合は、そのリベロが続行不可能と宣言された場合に再指名することができる。)

4 リベロに関わる動作

中体連におけるリベロプレーヤーシステム導入以来、何の変更もない。

このことは、今までと同じ「プレーの動作 (19.3.1)」の取り扱いを意味する。

以上